

・生活諸問題への対応

学生指導・相談等はクラス担任が中心となり、生徒一人ひとりと向き合いながら保護者と連携しておこなうことを基本としている。生徒の日頃の動向については調理実習や講義、学校生活の中から小規模校ならではの目の届く距離感において教職員全員が注意し、職員会議にて報告し情報を共有しあっている。

経済的問題を抱えている生徒もみられ、奨学生制度や学費の延納、分納を希望する者も認められる。また本校と情報を密にしている企業で社員やアルバイトとして働き、月々の給与を活用し月々の学費負担軽減を導入するなどの対応も行っている。

退学率の低減化も生徒指導上の重点課題の一つであり、入学直後に多く発生する傾向にある。長期欠席が引き金になっているケースが多く、担任が中心となって保護者と連携し、原因の把握、解決方法の模索に努めている。